



2024年11月15日

## マツダ、LGBTQ+に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2024」で最高位「ゴールド」を受賞

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、このたび、LGBTQ+などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2024」において、最高位の「ゴールド」を受賞しました。

本指標は、LGBTQ+の人々にとって働きやすい職場づくりを実現することを目的に、任意団体「work with Pride\*1」が2016年に策定した指標です。

Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)という5つの指標で評価され、全てにおいて要件を満たすことで「ゴールド」に認定されます。

マツダはひとが最も重要な資本という考えのもと、風土改革や人事制度の拡充、人材活躍の最大化の取り組みを推進しており、LGBTQ+に関する取り組みもその一環です。マツダ人権方針には、性別、性自認、性的指向等を理由としたあらゆる差別を禁止することを掲げており、社員就業規則において配偶者の定義に事実婚・同性婚の関係を含めるなど、誰もがより働きやすくなるよう職場環境および社内諸制度の整備を進めています。また、従業員を対象に定期的な啓発活動や教育を実施しており、2024年度は「多様性と包括性」をテーマに全従業員を対象として、性的マイノリティや他のマイノリティの方々を理解し、認め、尊重しあう「人権ミーティング」を実施するなど、社員ひとり一人がお互いを認め合いながらいきいきと働ける環境づくりを推進しています。

work with Pride



マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと、働きやすさと働きがいを徹底追求することにより、多様なバックグラウンドをもつ従業員一人ひとりが誇りを感じていきいきと働ける魅力的な会社を実現してまいります。

### <ご参考>

マツダのダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の取り組みについて:

<https://www.mazda.com/ja/sustainability/social/diversity/>

\*1 企業などの団体において、LGBTQ+(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティ)に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する一般社団法人です。